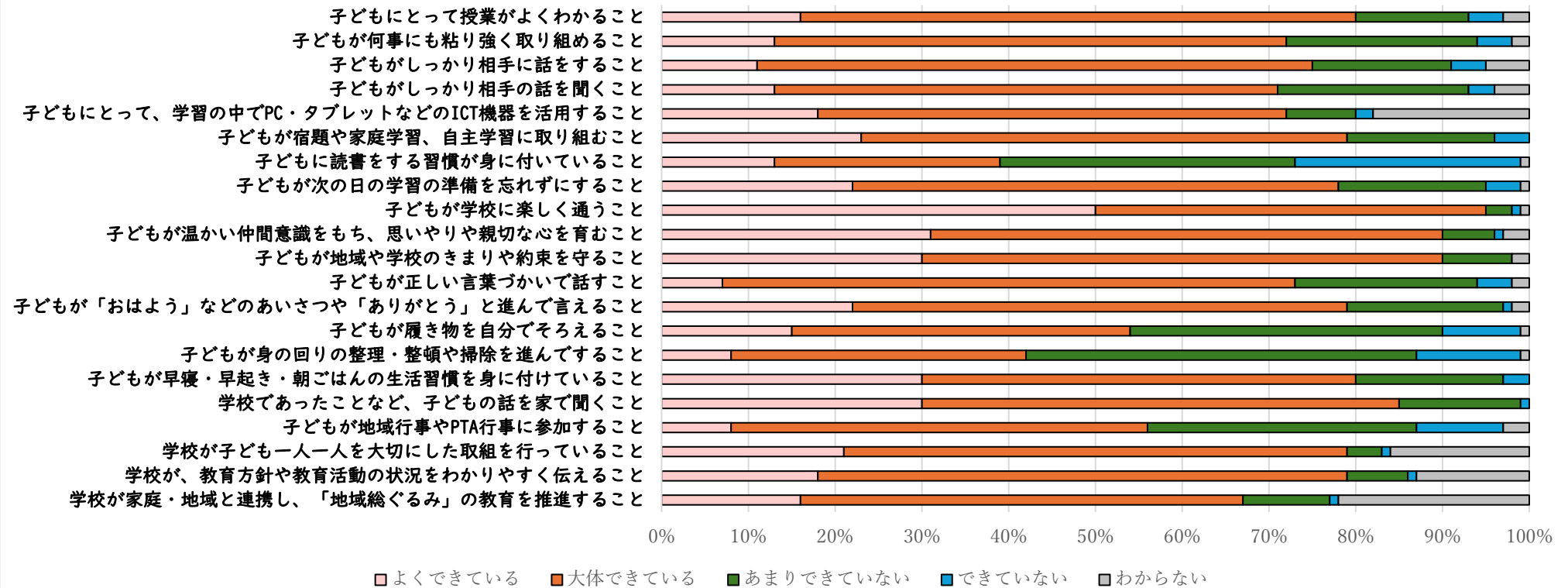


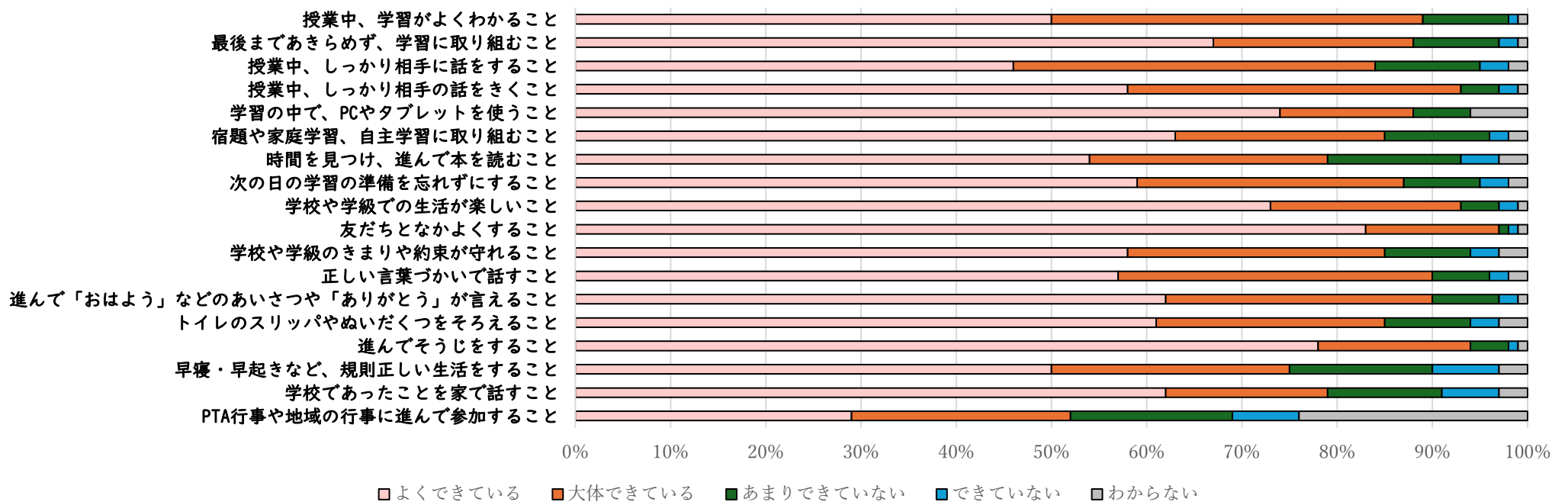
本校の教育活動をより充実させるため、今年度の学校生活などについて児童・保護者を対象にしたアンケートを実施しました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。

集計結果を今後の学校運営や教育活動に生かし、子どもたちの安全・安心な学校生活を送ること、学力向上への取組、家庭・地域の連携など、よりよい学校づくりに向けて取り組んでいきたいと思ひます

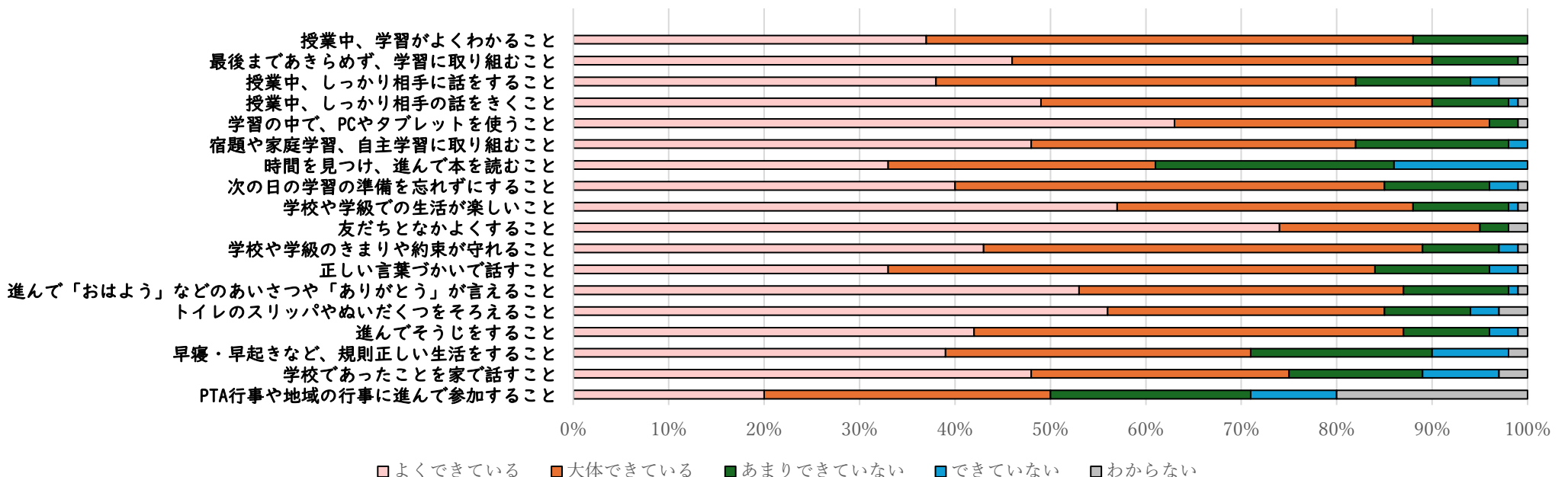
保護者



児童（低学年）



児童（高学年）



学校教育目標

「夢に向かって 自ら学び 共に行動する 梅津北の子」

～なりたい自分になる～

育成を目指す資質・能力 「思いを伝えあう力」「自己指導能力」

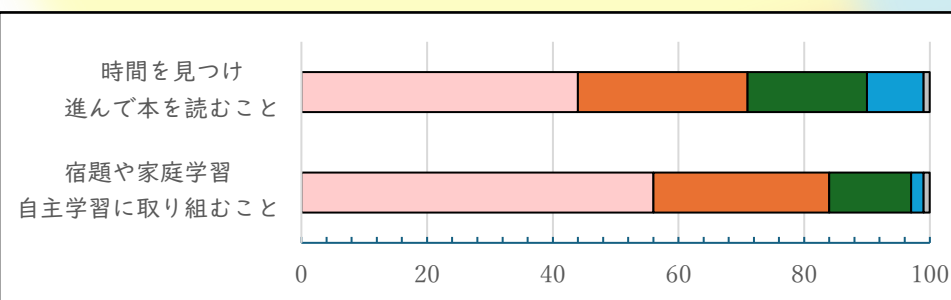
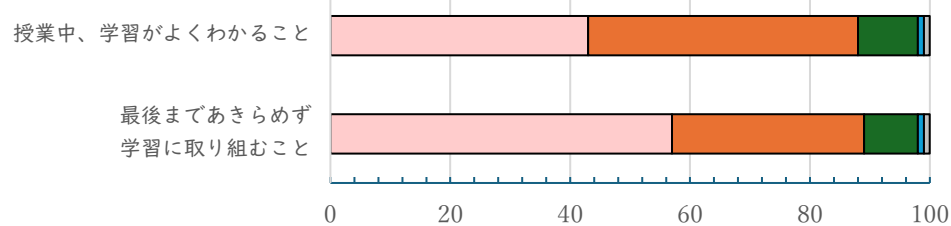
3つの大切 「ことば」を大切に 「じかん」を大切に 「いのち」を大切に

□よくできている □大体できている □あまりできていない □できていない □わからない（数字は％）

確かな学力の育成

- 「授業中、学習がよくわかること」「しっかり相手の話をきくこと」「最後まであきらめず学習に取り組むこと」では肯定的な回答が8割前後あり、多くの子どもたちが学習に前向きに取り組んでいることが分かります。

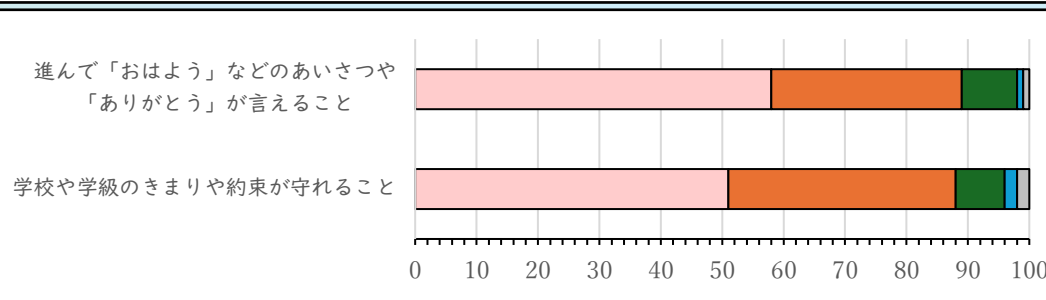
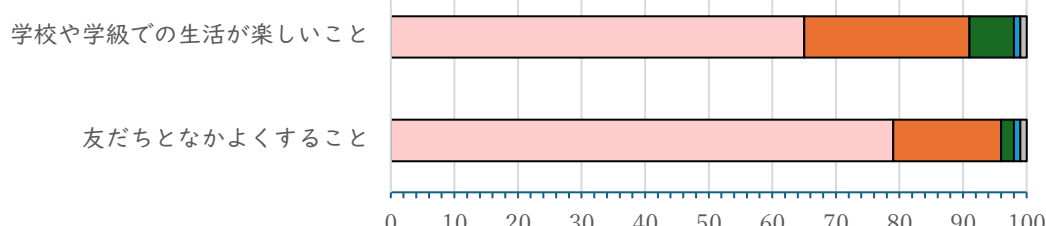
- 一方で、「時間を見つけ、進んで本を読むこと」や「宿題や家庭学習、自主学習に取り組むこと」では他の項目と比べて肯定的な回答が低くなっています。家庭と連携しながら、学習習慣や読書習慣の定着を図る取組を進めていきたいと考えています。



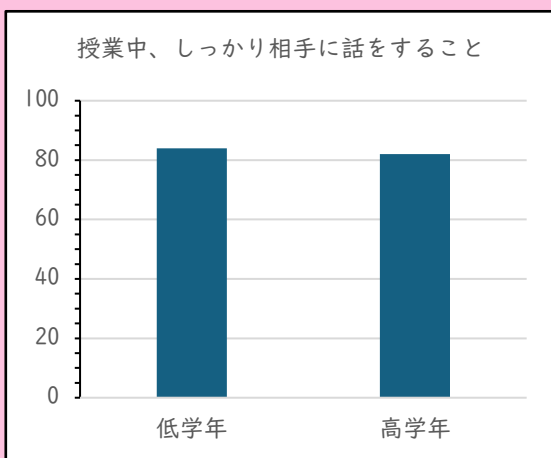
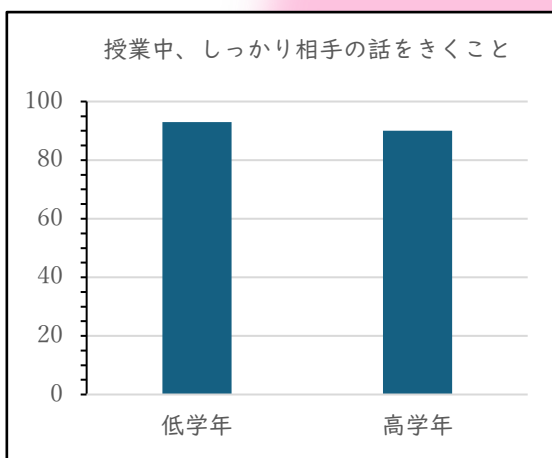
豊かな心の育成 ・ 健やかな体の育成

- 「学校や学級での生活が楽しいこと」「友だちとなかよくすること」では肯定的な回答が多く、子どもたちが安心して学校生活を送り、友だちとの関わりを大切にしながら過ごしている様子がうかがえます。

- 「進んでそうじをすること」「あいさつや『ありがとう』が言えること」「学校や学級のきまりや約束を守ること」においても肯定的な回答が多く見られます。日頃から大切にしている『ことばを大切に』『じかんを大切に』『いのちを大切に』の取組が子どもたちの姿につながっていると考えられます。



「思いを伝えあう力」の育成



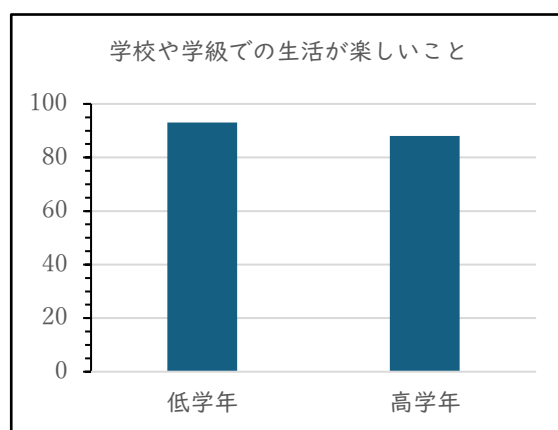
- 授業の中で話し合いや伝え合う活動を積み重ねることで、相手の話を聞き、自分の考えを伝えようとする姿が見られます。「しっかり相手の話をきくこと」「しっかり相手に話をすること」においても多くの児童が肯定的に回答しています。

「自己指導能力」の育成

- 子どもたちは学習や学校生活の中で、自分で目標を立てたり、ふり返ったりすることを積み重ねています。「次の日の学習の準備を忘れずにすること」や「最後まであきらめず学習に取り組むこと」においても高い肯定的評価が見られました。

- 「学校や学級での生活が楽しい」と肯定的な回答が多く、学校や学級での生活が楽しい」と肯定的な回答が多く、子どもたちが安心して学校生活を送り、自分の居場所があると感じながら自己存在感を高めている様子がうかがえます。

- 今後も、一人一人が自分で考え、判断し、行動できる力を育むとともに、互いの思いや考えを伝え合える子どもの育成を目指しながら、一人一人が安心して自分らしさを発揮できる環境づくりを大切に、子どもたち一人一人が「学校が楽しい」と感じ、自信をもって生き生きと活動できるよう教育活動の充実に努めていきます。



学校運営協議会理事の方より

- ・読書に関して、学校で読む機会をもつようにしている。家庭でも本に親しむ機会を作っていきたい。
- ・家庭では、子どもの話をよかったこともよくなかったことも聞くようにしている。今後、親同士のコミュニケーションも増えていけばよい。
- ・「自己指導能力」を伸ばす方法の1つは「子どもの話をよく聞くこと」である。例えば、何がよくなかったのかを自分で考え、次の行動に活かしていくというサイクルを繰り返すことで、よい行動を身に付けていくことができるのではないかな。
- ・授業中に子どもが発言する声が小さく感じる。感謝の言葉や挨拶など、自信をもって伝えてほしい。
- ・3年生は毎年、梅津北校区の地域のことを学ぶ学習をしている。地域のことを知れば、もっと自分たちが住む地域が好きになるきっかけになると思う。
- ・アンケート項目について、「あまりできていない」「できていない」という回答にも目を向けて、最善策を考えていく必要がある。